

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】平成 29 年 5 月 25 日 (2017.5.25)

【公開番号】特開 2015-150267 (P2015-150267A)
 【公開日】平成 27 年 8 月 24 日 (2015.8.24)
 【年通号数】公開・登録公報 2015-053
 【出願番号】特願 2014-27389 (P2014-27389)
 【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 7/02 3 2 6 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 4 月 3 日 (2017.4.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

抽選手段による抽選結果に基づいて遊技の進行を制御する主制御手段と、
該主制御手段からのコマンドに基づいて、表示装置に画像を表示して演出の進行を制御
することができる演出中央処理装置を有する演出制御手段と、
前記表示装置で行われる演出に付加される音量を調整する音量調整手段と、
 を備える遊技機であって、
遊技機で消費される電力を抑制することができる節電モードへ移行していると共に前記
表示装置でデモンストレーションの演出を進行している状態において前記演出中央処理装
置により監視されて作動状態が出力される空冷装置
 を備え、

前記節電モードは、前記表示装置で行われる演出に付加される前記音量調整手段で調整
された音量を、前記遊技機の状態に応じて抑制することを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記演出中央処理装置は、
前記空冷装置の作動状態が正常作動しているときにはその旨を伝える信号を出力するこ
とができる一方、
前記空冷装置の作動状態が正常作動していないときにはその旨を伝える信号を出力する
ことができることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 3】

ところで、パネル扉（扉枠）には、スピーカのほかに、華やかな演出を行う装飾用のラ
ンプが複数設けられている。遊技盤には、画像が表示される表示装置が設けられると共に
、モータにより作動する可動体を備える可動体ユニットが設けられている。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

ところが、遊技機で消費される電力が大きくなるという問題があった。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0006

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0006】

本発明は、このような事情に鑑みてなされたものであり、その目的とするところは、電力消費量を抑制することができる遊技機を提供することにある。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

(解決手段 1)

抽選手段による抽選結果に基づいて遊技の進行を制御する主制御手段と、該主制御手段からのコマンドに基づいて、表示装置に画像を表示して演出の進行を制御することができる演出中央処理装置を有する演出制御手段と、前記表示装置で行われる演出に付加される音量を調整する音量調整手段と、を備える遊技機であって、遊技機で消費される電力を抑制することができる節電モードへ移行していると共に前記表示装置でデモンストレーションの演出を進行している状態において前記演出中央処理装置により監視されて作動状態が出力される空冷装置を備え、前記節電モードは、前記表示装置で行われる演出に付加される前記音量調整手段で調整された音量を、前記遊技機の状態に応じて抑制することを特徴とする遊技機。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

この遊技機では、主制御手段、演出制御手段、音量調整手段、空冷装置を備えている。主制御手段は、抽選手段による抽選結果に基づいて遊技の進行を制御することができるものである。演出制御手段は、主制御手段からのコマンドに基づいて、表示装置に画像を表示して演出の進行を制御することができる演出中央処理装置を有するものである。音量調整手段は、表示装置で行われる演出に付加される音量を調整することができるものである。空冷装置は、遊技機で消費される電力を抑制することができる節電モードへ移行していると共に表示装置でデモンストレーションの演出を進行している状態において演出中央処理装置により監視されて作動状態が出力されることができるものである。

【手続補正 7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

節電モードは、表示装置で行われる演出に付加される音量調整手段で調整された音量を、遊技機の状態に応じて抑制することができるようになっている。

【手続補正 8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0011】

このように、節電モードでは、表示装置で行われる演出に付加される音量調整手段で調整された音量を、遊技機の状態に応じて抑制することができるようになっているため、音量を自動調整して電力消費量を抑制することができる。したがって、電力消費量を抑制することができる。

【手続補正 9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

本実施形態では、例えば、図12の主制御基板4100が主制御手段に相当し、図37及び図38の各種コマンドがコマンドに相当し、図2の扉枠側表示装置1820が表示装置に相当し、図15の周辺制御基板4140における周辺制御部4150の周辺制御MPU4150aが演出中央処理装置に相当し、図66の電力消費量監視処理におけるステップS1404の通常時電力抑制用音量設定処理が音量調整手段に相当し、図15の周辺制御基板4140が演出制御手段に相当し、図31のプロジェクタ1850に備える空冷装置FAN0、FAN1が空冷装置に相当する。

(解決手段2)

解決手段1に記載の遊技機であって、前記演出中央処理装置は、前記空冷装置の作動状態が正常作動しているときにはその旨を伝える信号を出力することができる一方、前記空冷装置の作動状態が正常作動していないときにはその旨を伝える信号を出力することができることを特徴とする遊技機。こうすれば、演出中央処理装置は、空冷装置の作動状態が正常作動しているときにはその旨を伝える信号を出力することができるし、空冷装置の作動状態が正常作動していないときにはその旨を伝える信号を出力することができる。

【手続補正 10】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明の遊技機においては、電力消費量を抑制することができる。